



和かつば

現在の和食ダム

左岸再掘削開始まであと少し

左岸再掘削に向けた準備工事として以前から施工してまいりました、上流河川の増水に備えた排水路(余水吐き)、水衝部流出防止のためのモルタル吹付が完了しました。また、車に乗せて回転するターンテーブルを設置し、上流側の狭いスペースでも工事車両が安全かつスムーズに出入りできるようになりました。

現在は、掘削で落ちてくる土砂や岩石から堤体を保護する落石防護柵、左岸側の再掘削時に使用する工事用道路を施工しています。

来年1月から再掘削に着手できるよう引き続き頑張っております。よろしくお願いいたします。



水衝部の流出防止モルタル吹付箇所



河川増水に備えた排水路(余水吐き)



堤体付近の落石防護柵
堤体の上・下流まで柵を設置したら完成です



設置が完了したターンテーブル
ドライバーは専用リモコンまたは操作盤で回転台を動かします



右岸側から見た工事用道路施工箇所

ダム関連工事の状況



完成した残土処理場へ続く工事用道路



付替道路工事予定箇所

今年7月より施工していた新残土処理場へ進入するための整備工事が完了となりました。盛土と舗装による工事用道路ができたため、新残土処理場に工事用車両が出入り可能となりました。今後は、環境対策として残土場から出る車両のタイヤについた土砂を洗い流す装置を設置する予定です。

また、去年度までにダム右岸天端付近～終点まで路側構造物が完成した付替道路の舗装・側溝・防護柵を施工する工事が11月からスタートいたします。作業上、通行止めやダム周辺の工事車両の通行頻度が高くなる可能性があります。安全第一で工事を進めていきます。ご協力とご理解のほど、よろしくお願いいたします。



芸西村の史跡紹介【第16弾】 てんまんぐう 「天満宮」

ダムカード配布枚数1000枚突破



《天満宮》
さいじん すがわらのみちざねこう しょうほう かんじょう
祭神を菅原道真公とするこの天満宮は正保四年(1647年)に勧請されたと言
われています。
ごしんたい
御神体は30センチ程の木象で、拝殿には多くの絵馬が掲げられており、川中
島合戦図等の作品が残されています。
いしがき
石垣は大きく存在感があり、石段を登ると道真公ゆかりの牛の石像が参拝者
を迎えてくれます。春には梅の花がきれいに見えるそうです。

みばやしじんじや
次回は「御林神社」です。



和食ダムカードVer.2.0



平成29年9月から配布をしているダムカードですが、北海道や沖縄等全国各地からおこしいたき、平成30年10月時点で配布枚数が1000枚を突破しました。これから始まる左岸再掘削等変化する建設現場へぜひ見学にお越しください。見学会も随時受付中です。よろしくお願いいたします。

今回の和食ダム便りは12月下旬予定です。